

【問1】

次の（1）から（10）の林学に関する語句群の中から5つを選択し、それぞれの語句について説明せよ。

- （1）明治の森箕面国定公園
- （2）グリーンインフラ
- （3）鳥獣保護区
- （4）要緊急対処特定外来生物
- （5）ジビエ
- （6）溪間工
- （7）線状降水帯
- （8）除伐
- （9）JAS材（JAS構造材）
- （10）クリーンウッド法（合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律）

〔問2〕

次の（1）から（10）の問いに答えよ。

著作権保護のため、非公表（択一式 10問）
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問3〕

次の（1）から（3）の問いの中から1つを選択し、答えよ。

（1）特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づき、特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリの以下の3項目について、800字程度（751字～850字）で説明せよ。

- ①特徴及び生態
- ②国内及び大阪府内の被害状況
- ③防除方法

（2）気候変動によるこれまでにない豪雨に対応するため、流域に関わる様々な関係者が協力して流域全体で水災害対策を行う流域治水対策が進められている。その中でも、河川上流の治水対策が重要であり、森林を維持、保全することで、森林の持つ公益的機能、災害防止機能を高度に発揮させることが求められている。

こうした豪雨災害や流域治水に対して森林に求められる機能のうち、以下の2項目について、800字程度（751字～850字）で説明せよ。

- ①山地災害防止機能（土壌保全機能・土砂流出防止機能）
- ②水源かん養機能

（3）全国で推進されているスギ人工林の伐採・植替え等の実施にあたり、伐採や植替え等事業量の増加が見込まれることから、林野庁では林業の「生産性の向上」「労働力の確保」及び「就業者の定着」に取り組んでいる。この取り組みについて、800字程度（751字～850字）で説明せよ。

ただし、以下の3つのキーワードを使用すること。

- ・林業機械
- ・緑の雇用
- ・労働環境

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題1 「令和5年度森林・林業白書」に基づく、我が国における木材産業の動向に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 近年、大規模製材工場が減少し、小規模製材工場が各産地に新たに建設される傾向があり、令和4（2022）年末現在の製材工場数は3804工場で、前年よりも144工場増加した。
2. 令和4（2022）年の集成材の生産量は、新設住宅着工戸数の増加等を受けて前年から大幅に増加して830万 m^3 となり、その大部分を造作用が占めている。
3. 令和4（2022）年の普通合板の生産量は、欧州への輸出が好調のため前年から大幅に増加して1530万 m^3 となり、このうち構造用の広葉樹合板が95.4%を占め、1460万 m^3 となっている。
4. 令和4（2022）年の木造軸組工法におけるプレカット加工率は、90%を超えている。
5. 我が国のパーティクルボードは、多くが輸入で賄われており、令和4（2022）年には、国内生産量は輸入量の $\frac{1}{3}$ 程度の9.8万 m^3 にとどまっている。

【正答：4】

以下の問題は例題です。（大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題2 一般的な木材の接着及び接着剤に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 空隙が多い低密度の木材の方が、空隙が少ない高密度の木材よりも接着剤の浸透性がよいため、接着力が高い。
2. 木材は含水率が高いほど接着力が高いため、集成材などの製造では、木材表面の含水率を20%以上に上げるなどの前処理が必要となる。
3. ユリア樹脂接着剤は、ホルムアルデヒドの放散が少なく、耐水性が高いため、構造用木質材料の製造によく使用されるが、若干高価である。
4. フェノール樹脂接着剤は、常温で硬化し、硬化後は透明となり意匠性に優れているが、耐熱性、耐水性に劣るため、主に家具用や造作用として用いられる。
5. レゾルシノール樹脂接着剤は、暗褐色で、常温で硬化し、構造用集成材などの製造に使用されている。

【正答：5】